

2023年度年次大会 開催案内

大会テーマ「幸福としての福祉へ 増進型地域福祉を手掛かりに」

■ 開催趣旨

2000年以降、地域福祉が主流化し、政策化してきました。生活にかかわる福祉の質が問われています。同時に社会が定常化する中で幸福への関心が示されています。国連やOECDという国際機関や国レベルだけでなく自治体や一般企業でも幸福やウェルビーイングという用語が掲げられるようになってきています。2023年秋に開催された「日本社会福祉学会第71回大会」のテーマは「世界の幸せをカタチにする社会福祉学の挑戦」でした。研究においても実践や産業界にあっても幸福への志向は広がってきています。

ただし、福祉の眼前には格差社会、少子高齢社会を背景に、社会的排除や貧困・生活困窮、孤立、虐待、引きこもり、ヤングケアラーやダブルケアなどの介護問題、生きにくさ、それらの複合した様々な社会生活課題があります。一方には幸福への関心の拡大、他方には、生存を脅かすような厳しい現実という、錯綜した状況があります。本大会では、こうした厳しい現実と向き合いつつも、福祉の語義である幸福を志向しその実現に向かう福祉の可能性を考えます。

基調講演では、厚生労働省にあって重層的支援体制整備事業の構築を進めてきた野崎伸一さんから地域共生社会と幸福のかかわりを提起していただきます。シンポジウムでは、増進型地域福祉という試みに取り組む富田林市、楽しみや面白さという切り口から新たな福祉への参加を探る堺市社会福祉協議会、そして桃山学院大学の学生による福祉施設との創造的な共同についてそれぞれ報告をいただき、議論を通して幸福を生み出す福祉について探究します。

また、例年通り日本社会福祉学会関西地域ブロック・関西社会福祉学会の会員による自由研究発表、年次総会も開催されます。多数のご参加をお待ちしております。

■ 開催日 2024年3月2日（土）

■ 会場 桃山学院大学 和泉キャンパス（3号館・2号館）

*今回は対面開催のみとなります

■ 参加費 無料（事前の申し込みが必要です。次ページの参加申し込みをご覧ください。）

*午後のプログラムは誰でも参加できます。非会員も歓迎します。

■ プログラム

9時30分	受付開始
10時～12時	自由研究発表（関西社会福祉学会・日本社会福祉学会関西地域ブロック会員）
12時45分～13時15分	年次総会（関西社会福祉学会・日本社会福祉学会関西地域ブロック会員）
13時20分～13時30分	開会挨拶 開催校 桃山学院大学 関西社会福祉学会
13時30分～13時45分	テーマ発題「なぜ幸福としての福祉なのか」 小野達也（桃山学院大学教授）
13時45分～14時45分	基調講演「地域共生社会 重層的支援体制整備事業の可能性」 野崎伸一（アマタホールディングス）
14時45分～14時55分	休憩
14時55分～16時30分	シンポジウム「幸福としての福祉への実践と展望」 （シンポジスト） ・ 竹口順子（富田林市増進型地域福祉課） ・ 所正文（社会福祉法人堺市社会福祉協議会） ・ 長谷川大陽（桃山学院大学卒業生） （コメンテーター）野崎伸一（アマタホールディングス） （コーディネーター）小野達也（桃山学院大学教授）
16時30分	閉会挨拶

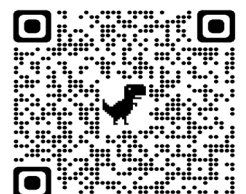
■ 【参加申し込み】 午前中のプログラム（自由研究発表と総会）は、関西社会福祉学会・日本社会福祉学会関西地域ブロック会員のみが参加できます。午後のプログラムは、会員以外の方にもご参加いただけます。参加を希望される方は、下記申込みフォームよりお申し込みください。

■ 申込みの締切り 2月26日（月）

■ 自由研究発表（口頭発表）に申し込まれる方は、別に案内される「2023年度関西社会福祉学会・日本社会福祉学会関西地域ブロック自由研究発表申込みご案内と方法」に基づきお申し込みをお願いします。なお、自由研究発表に申し込まれる場合でも、大会参加のお申し込みは以下からお願いいたします。

■ 【お問い合わせ先】 大会実行委員会事務局 minami@andrew.ac.jp（南宛）

■ 【申込みフォーム】 <https://forms.gle/G97psFdJHnvoeVpu5>



■ 会場案内

桃山学院大学 和泉キャンパス 3号館にお越しください。最寄り駅は、泉北高速鉄道と泉中央駅です。

以下リンクより、和泉中央駅から大学への道順の説明がより詳細にご覧いただけます；

<https://www.andrew.ac.jp/access/>

当日は学食の営業はありません。また近隣にはコンビニが1軒あるのみです。昼食は各自ご準備ください。

